

令和4年度園評価（保護者・職員）に対する園の自己評価

令和5年5月末
学校法人高岸幼稚園
園長 相原典之

（保護者による園評価結果）

今回も、全体的に高い評価をいただき、感謝しております。

特に、キリスト教保育の理念（1、2）を保護者の皆さまがよくご理解くださっていることに励まされております。

また、園が目標としている子どもたちの育ちの姿（3～6）についてもよくご理解くださり、子どもたちの成長と一緒に喜んでいただき、感謝しております。

子どもたちが園での生活を楽しんでいるというご意見が多かったことは、職員にとって何よりも嬉しいことでした。

一方で、子どもたちの挨拶については、あまりよくできていないと思われた保護者の方も多くおられます（10）。職員も同様に感じており、今後の課題の一つです。

（職員による自己評価結果）

今回は、非常勤の職員も含めて、自己評価をしました。

多くの項目について「よくできた」よりも「だいたいできた」と答えた職員が多かったようです。自己評価故の厳しさかもしれませんが、「よくできた」と評価できるようになるためには、どのように改善していったらよいのかを考え、実践することが大切だと思います。

（今後の課題）

- ・前回に続き、子どもたちが自ら進んで挨拶することが身につけていないことが課題となっています。職員で話し合い、工夫しながら、子どもたちに挨拶の大切さを伝えていきたいと思えます。まずは、職員が子どもたちの手本になるよう心がけます。
- ・職員の人数が多くなっていますので、園の理念や目標の共有、連絡事項の共有が行き届くよう努めていきたいと思えます。
- ・安全面では、引き続き細心の注意を払っていきたいと思えます。